

～ 危機管理できてますか！

緊急放流（異常洪水時防災操作）への対応 ～

令和7年度研修

ダム操作実技訓練

主 催 一般財団法人 全国建設研修センター
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

近年、気候変動の影響により、大雨による洪水の頻発・激甚化が懸念されており、平成30年の西日本豪雨、令和元年の東日本台風などでダムの緊急放流（異常洪水時防災操作）を余儀なくされています。このような計画規模を超える洪水時にも適切に対処できるように、ダムの操作規則に基づく基本的な操作だけでなく、異常洪水時防災操作についてもその手法を理解しておくことが重要です。

本研修は、ダム管理業務に従事する方を対象に、操作規則に基づく操作から異常洪水時防災操作へ移行するまでの手続き、手計算による異常洪水時防災操作計画書の作成、及びダムシミュレータ装置によるダム操作の疑似体験により、異常洪水時防災操作を修得することを目的としています。

ダム管理業務に携わる方々が緊急時対応を実技訓練する機会として、また、全国から集まった参加者との相互交流、情報交換の貴重な機会としても好評を得ています。

皆様のご参加をお待ちしています。

◎受講された方々の声

- ・ダムシミュレータを用いた操作実技訓練を通じて、操作規則・細則に定められているダムの操作方法を実践的に修得することができた。
- ・実際に異常洪水が起きてから、異常洪水時防災操作を理解するのでは遅い。予めシミュレーションできる貴重な体験となった。
- ・少人数の班に講師一人がつくため、質問しやすく、充実した研修だった。

【研修期間】 令和7年12月3日(水) ～ 令和8年2月27日(金)

各3日間 8回 ※次頁参照

【研修場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL : 042-324-5315 <https://www.jctc.jp/>

※受講経費の助成制度がある県（政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります）

青森・岩手・栃木・群馬・神奈川・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知・大分・宮崎の18県。

詳細は、各県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

※厚生労働省人材開発支援助成金（人材育成支援コース）について

当センターでは、事業主の方が申請に必要な、本研修に派遣された従業員の受講状況の証明をします。

なお、当該助成金が支給されるかどうかは、各都道府県労働局が研修受講後の支給申請に基づき、審査の上決定することとされています。詳細は、厚生労働省又は都道府県労働局のホームページをご覧ください。

令和7年度研修「ダム操作実技訓練」実施要領

1. 目 的

計画規模を超える洪水時にも対処できるように、異常洪水時防災操作の計画書作成やダムシミュレータ装置によるダム操作の疑似体験により、異常洪水時防災操作を修得する。

2. 対 象 者

国、地方公共団体、独立行政法人及び民間企業等において、ダム管理業務に携わる者

3. 募集人数

各6名 8回 計48名

4. 研修期間

各3日間

第1回	令和7年12月 3日(水)～12月 5日(金)
第2回	令和7年12月10日(水)～12月12日(金)
第3回	令和7年12月17日(水)～12月19日(金)
第4回	令和8年 1月14日(水)～ 1月16日(金)
第5回	令和8年 1月28日(水)～ 1月30日(金)
第6回	令和8年 2月 4日(水)～ 2月 6日(金)
第7回	令和8年 2月18日(水)～ 2月20日(金)
第8回	令和8年 2月25日(水)～ 2月27日(金)

【研修に関する注意事項】

※通学制です。

※近隣の提携ホテルに研修生特別料金で宿泊できます。

当センターホームページ又は下記アドレスより予約できますのでご利用ください。

<https://www.jctc.jp/training/hotel>

5. 集合日時

研修初日に1号館1階ロビーの教室案内板にて教室をご確認の上、
8時30分までに3号館1階ダム講義室に入室してください。

6. 教科目、講師及び研修場所

(次頁以降参照)

7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当：黒岩、竹本、平野

〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2

TEL：042-324-5315 FAX：042-322-5296

※申込は郵送、FAXいずれかで受け付けています。

8. 研修会費及び納入方法

研修会費 77,000円(1人当たり、消費税含)

請求書をお送りしますので、請求書到着後にお振り込みください。

※振込手数料はご負担ください。

請求書の発送・納入方法につきましては、当センターホームページ

「<https://www.jctc.jp/training/kaihi>」をご確認ください。

9. 申込締切日

令和7年11月7日(金)

※上記締切日以降、受講者のキャンセル及び変更はできかねますので、ご了承ください。

10. そ の 他

- (1) ご持参いただくもの(筆記用具、保険証又は資格確認書、雨具等)
- (2) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
- (3) 座席の位置や個人差により体感温度に差がありますので、カーディガン等の持参をお勧めします
- (4) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

【お知らせ】

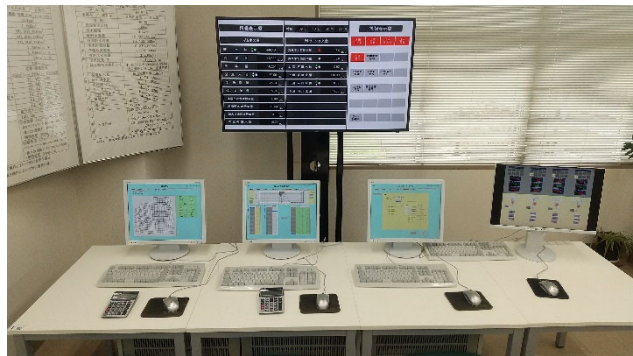
食事については、平日の昼食時のみ、お弁当(税込550円)の販売を行います。
支払いは、直接販売員へお願いします。

時 間 割

日 程		教 科 目	講 師
1 日 目	8:30 ~ 9:00	オリエンテーション	
	9:00 ~ 12:00	研修テキストの説明	(一財) 全国建設研修センター 研修局 研修事業部
	13:00 ~ 17:00	〔実技訓練〕 操作規則による洪水対応	次 長 黒岩 久一 研修専門役 竹本 隆之 研修専門役 平野 一彦
2 日 目	9:00 ~ 12:00	〔実技訓練〕	〃
	13:00 ~ 17:00	異常洪水時防災操作	
3 日 目	9:00 ~ 12:00	〔実技訓練〕 異常洪水時防災操作	〃

合計 17.0時間

【ダムシミュレータ】



< 研 修 場 所 >

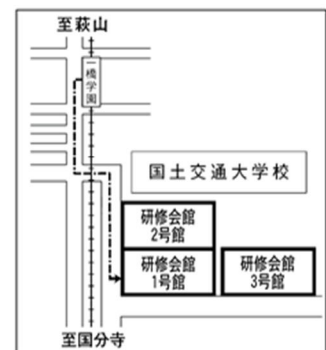
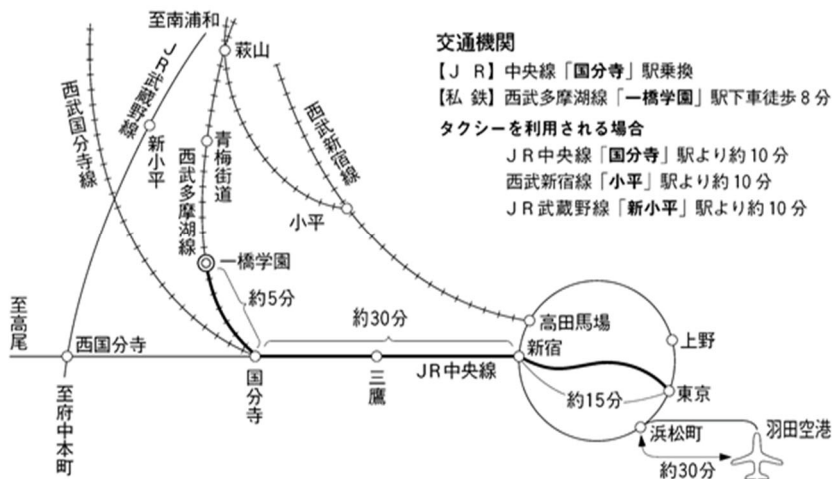
一般財団法人 全国建設研修センター
研 修 会 館

※1号館にお越しください。

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042 (324) 5 3 1 5 (代)

<https://www.jctc.jp/>



令和7年度に実施する研修の実施計画についてはホームページで閲覧できます。

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

〔メール配信〕

メール配信サービス「建設研修のお知らせ」は、あらかじめご登録いただいた方に、募集中のコースなどの情報をお知らせするサービスです。

なお、この場合は、全ての研修について配信されます。

ご希望の方は、下記 URL または二次元コードよりお申し込みください。

<https://www.jctc.jp/training/mail-service>



令和7年度研修 ダム操作実技訓練 申込書

【受講申込者記入欄】

D231

(ふりがな)			年 令	性 別
氏 名			満 才	☐ 男 ☐ 女
最終学歴	☐ 大学院 ☐ 大学 ☐ 短大 ☐ 高専 ☐ 専門学校 ☐ 高校 ☐ その他 _____ 科 卒業 / 修了			
ダム管理の経験年数	年 ヶ月	役職名	(事務・技術)	
(ふりがな)				
現在従事している ダムの水系・名称	水系 _____ 川 _____ ダム _____			
ダムの種類 (○で囲む)	多目的ダム / 利水ダム等 (第1類 ・ 第2類 ・ 第3類 ・ 第4類)			
勤務先	(勤務先名) _____ 部 _____ 課 E-mail : _____ @ _____			
勤務先種別	☐ 国、地方公共団体 ☐ 独立行政法人等 ☐ 技術センター、財団、社団 ☐ 建設業者 ☐ コンサルタント等 ☐ その他			
勤務先所在地	〒 _____ (TEL) (住所)			
受講希望時期	※受講希望時期について、第1希望に1、第2希望に2、第3希望に3を記入し、 残りの回については、参加可能の回に○、参加困難の回に×を記入してください。			
	第1回	第2回	第3回	第4回

【受講者派遣機関記入欄】

☐ 上記受講者と同じ ⇒ 下記にFAX番号のみ記入

派遣機関名		
所在地	〒 _____ (TEL) (住所)	(FAX)
派遣事務担当者 所属・氏名	(所属)	(氏名)
E-mail	_____ @ _____	

【請求書情報記入欄】

※請求書宛名の空白指定はできません。日付は発行日になります。

請求書の送付方法	☐ 郵送 ☐ メール	送付先	☐ 派遣事務担当者 ☐ 受講者
請求書宛名			

※ 申込書に記入された氏名、年令等の個人情報は、研修を円滑に実施するためのものです。
 申込書の記載事項は、研修の事務連絡及び実施に必要な書類等の作成以外の目的では利用いたしません。

F A X 送信先：042-322-5296 (一財) 全国建設研修センター 研修局